キャラクター名：左 蓮太郎(ひだり れんたろう)

プレイヤー名：

シンドローム	エグザイル / ノイマン	**ワークス**	探偵	**カヴァー**	八雲探偵事務所の所員
オプショナル		**年齢**	25	**性別**	男性
覚醒	償い	**衝動**	妄想	**初期侵食率**	32 %
出自	天涯孤独	**経験**	永劫の別れ	**邂逅**	任意(友人)：八雲 真栄里

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	1	0	0			1
精神	3	1	0			4
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**	**技能**	**SL**	**修正**
白兵	3		射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	3		調達		
運転： 二輪	2		芸術：			知識 :心理学	1		情報 :裏社会	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【素手】ジョーカーボディ	白兵	2r+2	3	Lv+5		エフェクト《骨の剣》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲： 0　合計回避： 0

所持品	
【一般】思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
【Dロイス】奇妙な隣人(ストレンジネイバー)：《オリジン：レジェンド》	P	N		
【理解者】ペトロヴナ(Petrovna)	P 連帯感	N 憤懣		
【友人】八雲 真栄里(やくも まえり)	P 庇護	N 悔悟		
【シナリオロイス】真紅の姫君 (カーミラ)	P 誠意	N 猜疑心		
S【レネゲイドビーイング】御巫 千夜子(みかなぎ ちやこ)	P 好意	N 恥辱		
【事件の被害者】狩野 火龍(かりや ひりゅう)	P 懐旧	N 脅威		
【助ける相手】赤坂 英里奈(あかさか えりな)	P 同情	N 疎外感		

最大財産P: 4　残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ヒュドラの怒り	5	4	セットアップ	至近	自身	自動	100%	
効果：ラウンド間：メジャー判定ダイス+[3]、攻撃力+[Lv*3]、効果中は自身『BS[暴走(タイタス以外回復不可)]』】								
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：シーン間：変更『素手データ《骨の剣》』								
オリジン：レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：シーン間：<精神>判定達成値+[Lv*2]								
爪剣	5	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：攻撃に対する対象『ドッジダイス-[1]』、攻撃力+[Lv*2]								
コンセントレイト：ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：判定クリティカル値-[Lv：下限値7]								
コントロールソート：白兵	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：変更『判定<精神>』								
生き字引	1	2	メジャー	自身	自動	-	-	
効果：変更『情報判定<意志>』、判定ダイス+[Lv]								
写真記憶	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：細部に至るまで詳細に記憶								
プロファイリング	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：物品を観察して少しの情報で真実を導き出す								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

相棒のレネゲイドビーイング『ペトロヴナ』と八雲探偵事務所を営業する自称「ハードボイルド」な私立探偵。
二代目所長は年下幼馴染の『真栄里』とは時々喧嘩することもあるがそれなりに信頼関係を持っている。
正義感が強く心優しい性格で「街を泣かせる者」である犯罪者を許さず「街の涙を止める」ために日々奔走。
ただし彼の方針はあくまで「罪を憎んで人を憎まず」であるため、犯人に対して甘さを見せてしまうことが多い。
自身の本棚にはハードボイルドな小説がズラリと並んでおり、古典的なハードボイルドな探偵に憧れている。
それらしい振る舞いをするが空回りしたりキザな台詞が聞き流されたりして、ハードボイルドになりきれない。
情にもろく熱血的な姿勢は、ペトロヴナには親愛の情を持って「ハーフボイルド(半熟卵)」とからかわれている。
関わった事件が終結した際には英文タイプライターで『ローマ字』の報告書を作って事件を振り返っている。
なお、依頼人に提出する正式な報告書は『真栄里』が通常のワープロで製作し提出しているため、意味なし。
女性的顔立ちを気にしている様子で、それが余計にハードボイルドで渋い男に憧れる要因になってしまっている。